

## 令和2年度 卒業証書授与式

今川小学校

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍の中でも、皆さんは仲間を大事にし、素晴らしい頑張りを見せて、学業を修めました。たいへん、えらいです。

保護者の皆様。お子様のご卒業、おめでとうございます。また、この6年間、本校教育に、ご理解とご協力をいただき、真にありがとうございました。心より、御礼申し上げます。

さて卒業生の皆さん。本日は卒業をお祝し「夢をかなえる力」についてお話しします。今川小学校での、最後の授業。それでは、始めます。

日本が世界に誇るスーパーコンピュータ富嶽ですが、その大きさは、体育館ワンフロア程の大きさです。48年前、私が皆さんぐらいの時、スーパーコンピュータは、当時、日本一大きい霞ヶ関ビル36階建てと同じ大きさ。巨大でした。それを机の上に置けるように小型化して、個人が所有できるようになります。必ず実現させる!と決意して研究する若者がアメリカにいました。その人は当時18歳。なのでお金も力もない。工場のゴミをもらって来て材料にする。家のガレージで部品を作つて組み立てる。お腹が空いたら庭のリンゴをかじって食事代わりにしている。

担任の先生は、小学校最後の授業で、そう話されました。夢のような話。すごい計画です。私はびっくりしました。

実は計画は、ほぼ原型までできている。順調にいけば、後5年ほどで実用化・販売されるだろう。みんなが大人になったとき、使うかもしれないね。

この若者は卓上型のスーパーコンピュータが完成したら、今度は手の平に乗る、超小型のスーパーコンピュータを開発したいと言っている。しかし、これほどの小型化は、相当時間がかかると思う。けれども、目標を定めて、必ず実行しようとする。そういう人がいる限り、必ず実現するだろう。

手のひら型にはコンピュータ本来の、演算機能だけでなく、情報通信や映画館、娯楽の機能も入れたいと言っている。もし梅原が開発者なら、どんな機能を入れる?と聞かれたので、私は、やっと固定電話が普及して、家庭への設置が始まっていた時代でした。なので「未来的な、テレビ電話を入れたい。」と答えました。

先生はにっこりして、テレビ電話はきっと入る。そしてここからは、私の予言だが、もし先生が開発者なら、手のひらサイズのスーパーコンピュータが完成した暁には、私なら次はメガネ型や腕時計型のスーパーコンピュータの開発を目指す。そう言われました。

今から48年前。私が子どもの頃のエピソードです。さて皆さんには、手のひら型、きっと想像がつくと思います。思い当たりませんか？ これです。

2007年、初代iPhoneができた時、私は先生の言葉を思い出し、衝撃を受けました。しかも後ろには、かじりかけのリンゴのロゴが付いています。18歳の少年は、素晴らしいアイデアと努力で、夢を実現させ、人類に新しい未来を、引き寄せました。これが、その証拠です。

夢は、必ず実現します。私は、このことを、皆さんに伝たかった。

アップル・コンピュータの創業者の1人である、スティーブ・ジョブズはスタンフォード大学の卒業式で、夢を実現させるための生き方、心のあり方について、こう言っています。

「毎日を人生最後の日であるかのように生きていれば、必ずそのようになる。もし今日が、人生最後の日であるなら、あなたの今日の予定は、その日にふさわしいものですか？」この自分自身への問いかけに対し、「いいえ」が続くようであれば、つまり「夢を実現させるための努力をしていない状態」なら、あなたは生き方を転換させる必要が有ります。

この言葉を、皆さんに合わせて言い換えます。中学校へ入学したら、どんな場面でも目標を持つこと。そして前向きな笑顔で、与えられた課題を受け止め、チャレンジすること。うまくいかないことも、きっと沢山あるでしょう。しかし決して諦めない。粘り強い努力で挑戦してください。失敗は成功へ向かう過程の、一歩手前のかたちです。失敗した時こそ、それを大事にしてください。失敗は必ず成功へつながります。わかりましたか？

自分を信じ、夢や目標に向かい、粘り強く、根気よく努力する。その姿勢が、3年後の進路選択へとつながります。そして高校への進路選択は、10年後、20年後の自分の人生とも、大きく関係していきます。本日卒業される皆さんに、それぞれの夢や目標に向かって、たくましく羽ばたいてくださいことを期待し、今川小学校最後の授業・卒業式の式辞といたします。

令和3年 3月 19日  
大阪市立今川小学校 校長 梅原 直人